



5月の園だより

2025年4月30日発行

だんだんと陽ざしが強くなり、汗ばむようになってきましたね。
子ども達は、半袖になって園庭を元気よく駆け回っています！4月25日には、元気に泳ぐこいのぼりのしたで、「こどもの日の集い」を行いました。各クラス身体をいっぱい使って小運動会を楽しみましたよ。一つ大きくなり、かけっこや玉入れ、ダンスなど、とっても盛り上がる姿を見ていて子ども達の成長を感じました♪今月末の31日（土）には、とんぼ組の子ども達の「冒険の森」を取り組めます。「冒険の森」は、当日だけではなく、4月よりいろんな仕掛け保育を日々の保育の中に組み入れて、子ども達の気持ちを盛り上げていきます。今年のテーマは「モンスター」です！モンスターが子ども達にいろんな問題を投げかけることで、子ども達は、みんなで一生懸命考え、力を合わせて向かっていきます。その中で、いろんな経験・学びをし、力をつけていきます。当日は勿論楽しい事がいっぱい巻き起こりますが、大切な事は当日までの過程のなかにあるのです。保育園の最終年度である5歳児の子ども達に、毎年全職員で取り組んでいく「冒険の森」。保護者の方々にも家庭保育のご協力をお願いする事になり申し訳ありません。ご協力本当にありがとうございます。中宮まぶね保育園の子ども達の毎日が、ワクワク楽しい毎日になるよう、職員一同頑張っていきます！どうぞよろしくお願い致します。

園長 山本真理子

5月の行事予定	日	月	火	水	木	金	土
					1 リトミック教室 (4・5歳) 発育測定	2	3 憲法記念日
	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7 体育あそび教室 ふれあい (地域子育て支援)	8	9 検尿 避難訓練	10
	11	12 体育あそび教室	13 4歳・5歳遠足	14 3歳遠足	15 リトミック教室 (2・3歳)	16 布団乾燥	17
	18	19 体育あそび教室	20 英語あそび教室	21 太鼓教室 検尿	22 びよびよ (地域子育て支援)	23	24
	25	26 体育あそび教室 内科健診	27 英語あそび教室	28 太鼓教室 誕生日会 無料法律相談	29	30 冒険の森 頑張っぺ会 布団乾燥	31 冒険の森

社会福祉法人 日本コイノニア福祉会

中宮まぶね保育園

〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1

Tel/072-840-2780 fax/072-840-3212

E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp

URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

☆苦情解決委員会☆

◎苦情解決責任者 山本 真理子

◎苦情解決窓口担当 山本 真理子

◎苦情解決第三者委員

畑 健次郎・花岡 尚樹・酒井 咲子

※意見箱は玄関ホールに設置、園に対する苦情やご質問・ご要望等を受け付けております。又、子育てやそれらに関係するご相談も随時受け付けております。

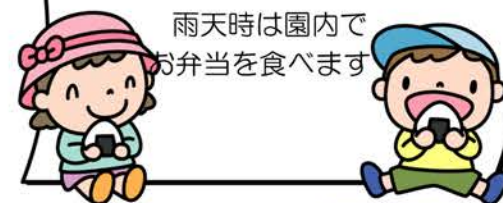
春の遠足

13日(火) 4歳 5歳
(二フレル)

8時30分集合

14日(水) 3歳
(堂山公園)

雨天時は園内でお弁当を食べます



<園からのおねがい>

- ・送迎の際、保護者は必ず吊り下げ名札を着用してください。
- ・保育園は午後7時に閉まります。帰りの準備をして午後7時には園を出るようお願いします。



5月うまれの おともだち

「野の花がどのように育つのか、よく学びなさい」

(マタイによる福音書6章28節)

保育園では毎月お誕生日会が行われ、誕生日を迎えた子どもたちはみんなから「おめでとう」とお祝いされ、誇らしそうな顔をします。

時々、生まれる前にお母さんのお腹の中にいた時の様子がどんなだったかを教えてくれる子どもがいます。生まれてから長い時間が経ってしまった大人と違い、子どもたちにとっては記憶も新しいのでしょう。

そんな子どもたちに、「神様はみんなのことを、生まれる前からとっても大事にして守ってくれているんだよ」と伝え、素直に納得してくれます。なぜなら、自分の力だけでは生きていけない子どもたちは、「今日も家族や、保育園のみんなや、神様から大切にされている」ということを、直感的に感じ取るからなのかもしれません。

聖書には「神様は仕事をしない空の鳥も養ってくださるし、踏みつけられる野の草花も美しく装ってくださる」と記されています。私たちの目には「いつ、どのように役に立つか」が関心事として映りますが、神様の価値基準や時間軸はそれらを超えて、一つ一つの命そのものをいつも大切にされています。野の花は天候や明日のことを思い悩むことなく、ただ与えられる陽の光や風を全身で受けています。大小様々なことに悩むことの多い私たちですが、いつも神様が一緒にいて下さっていることを心に留めていられたら、もっと自分にも周りの人たちにも優しくなれるのではないかと思います。

(チャブレン・牛田匡)